

● 各種訓練の紹介③

漂流物対策訓練

防潮堤は、台風などによる高波や高潮、津波等を防ぎ、背後地の人命、財産および社会経済活動を守るために整備されています。

訓練としては、役割を理解してもらった上で、実際に防潮堤の開閉を実施しました。

開閉作業を通じて、ゴミやバイク、自動車等の放置物があれば必要な時、瞬時に閉鎖することが出来なくなるため、日頃から注意が必要であることを理解してもらいました。



防潮扉閉鎖状況

非常食の調理実演及び試食

小松島市から、災害時に避難場所へ実際に支給される食料を提供していただきました。

今回は水を注ぐだけで作ることが可能な白米を実際に調理し、休憩時間を利用して参加者に食べてもらい、参加者からは、「想像していたよりおいしかった」との意見を多数いただきました。

東日本大震災の事例から1週間は、食料等の救援物資が届かないケースも想定されます。このことを考慮し、食料に限らず各自で必要な物を日頃から備蓄しておくことが重要であると考えています。



炊き出しセット



調理状況

訓練成果と主要な意見

今回の訓練では、地元の自主防災組織や小松島高等学校、小松島西高等学校に参加いただき、みなとオアシス周辺の地域の方々に密着した形で防災訓練を実施いたしました。なお、過去においては、「浮棧橋を利用した小型船による海上輸送訓練」や「緑地のオープンスペースでの炊き出し訓練」など、災害時のみなとオアシス周辺施設の有効性を検証しております。防災に関しては、防災に活用できる施設があるだけでは何の役にも立たず、その周辺にいる方々の活動が伴って、初めて効果が発揮できるものです。

今回、各行政組織並びに地元で活動する自主防災組織や高等学校など地域の住民に参加いただくことにより、周辺住民の防災意識向上、今後の防災活動に役立ったのではないのでしょうか。

災害時には、訓練以上の行動は、なかなか期待できません。地域の防災・減災には、出来ることから1つずつ行っていく地道な訓練の継続が重要です。

発行：小松島みなとまちづくり協議会

(平成24年度事務局：国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 TEL：0885-32-3357)